

〈総会報告〉

平成 29 年度 EICA 総会・講演会報告

平成 29 年度 EICA 総会と論文賞表彰式、講演会を開催しましたのでその概要を報告します。

【総会開催概要と次第】

開催日：平成 29 年 5 月 29 日(月)
 会場：品川区立総合区民会館「きゅりあん」
 6 階大会議室

総会：
 第 1 号議案 平成 28 年度事業報告
 第 2 号議案 平成 28 年度決算案及び監査報告
 第 3 号議案 平成 29 年度事業計画案
 第 4 号議案 平成 29 年度予算案
 第 5 号議案 投稿規程改定案
 第 6 号議案 平成 29 年度役員案
 第 7 号議案 名誉会員推挙
 選考委員会報告：功績賞及び平成 28 年度論文賞の選考について
 表彰式（功績賞及び平成 28 年度論文賞）

1. 開会の辞と会長挨拶

総会に先立ち、司会の山内進氏（総務委員、(株)堀場アドバンスドテクノ）から開会の辞があり、出席会員 59 名、委任状提出会員 83 名、合計 142 名で、会員総数 248 名の 5 分の 1 である 50 名を越し、会則第 13 条により、本総会が有効に成立されたことが報告されました。続いて清水芳久会長（京都大学大学院工学研究科）から挨拶がありました。



会長挨拶
 (清水芳久 京都大学大学院 工学研究科 教授)

2. 議長、議事録署名人の選出

議事の審議に入るに当たり、小浜一好氏（副会長、月島機械(株)）を議長に選出し、総会議案に従い審議が進められ、議事録署名者として議長の小浜氏の他、田子靖章氏（副企画委員長、メタウォーター(株)）と佐藤明雄氏（副幹事長、安川電機(株)）が選任されました。

3. 議案審議

(1) 第 1 号議案 平成 28 年度事業報告

議長の指名により、各委員会代表者から平成 28 年度の事業報告がありました。

副総務委員長：飛川昌也氏（株明電舎）

企画委員長：山田顕寛氏（株日立製作所）

編集委員長：橋本征二氏（立命館大学）

各委員長の事業報告後に、議長より第 1 号議案についての質疑・承認可否が諮られ、満場異議なく、原案通りに承認されました。

(2) 第 2 号議案 平成 28 年度決算案及び監査報告

議長の指名により、福嶋良助氏（事務局次長）から平成 28 年度決算報告書に基づき、平成 28 年度決算について報告されました。

続いて、会計監査の結果について、佐藤大毅氏（監事、三菱電機(株)）より、決算報告が妥当かつ適正であった旨を報告されました。

その後、議長より第 2 号議案についての質疑・承認可否が諮られ、満場異議なく、原案通りに承認されました。

(3) 第 3 号議案 平成 29 年度事業計画案

議長の指名により、各委員会代表者から平成 29 年度の活動計画案について説明されました。

副総務委員長：飛川昌也氏（株明電舎）

企画委員長：山田顕寛氏（株日立製作所）

編集委員長：橋本征二氏（立命館大学）

その後に、議長より第 3 号議案についての質疑・承認可否が諮られ、満場異議なく、原案通りに承認されました。

(4) 第 4 号議案 平成 29 年度予算案

議長の指名により、福嶋良助氏（事務局次長）から平成 29 年度予算案について説明されました。

その後に、議長より第 4 号議案についての質疑・承認可否が諮られ、満場異議なく、原案通りに承認されました。

(5) 第5号議案 投稿規程改定案

議長の指名により、橋本征二氏（編集委員長，立命館大学）より投稿規程の改定案について説明されました。

その後に、議長より第5号議案についての質疑・承認可否が諮られ、満場異議なく、原案通りに承認されました。

(6) 第6号議案 平成29年度役員案

議長の指名により、福嶋良助氏（事務局次長）から評議員等の役員の選任案について説明されました。

その後に、議長より第6号議案についての質疑・承認可否が諮られ、満場異議なく、原案通りに承認されました。

(7) 第7号議案 名誉会員推挙

議長の指名により、片山学氏（選考委員長（幹事長），月島機械株）から名誉会員の推挙について説明されました。

その後に、議長より第7号議案についての質疑・承認可否が諮られ、満場異議なく、原案通りに承認され、古里明瑠氏（総務アドバイザー）が名誉会員に就かれました。

その後、総会は一時的に中断となり、平成29年度第2回評議委員会が開催され、役員案が承認されました。

4. 選考委員会報告と表彰式

議長の指名により、片山学氏（選考委員長（幹事長），月島機械株）より功績賞及び平成28年度論文賞の選考結果について報告がありました。

〈功績賞〉

古里明瑠氏（総務アドバイザー）

〈論文賞〉（2編）

『下水汚泥の高効率脱水と焼却廃熱発電システムの評価』

山田恭平（京都大学大学院工学研究科），大下和徹，高岡昌輝，藤森崇（京都大学大学院地球環境学堂），水野孝昭（株タクマ），星隆伸（株西原環境），山崎正博，下川克之（和歌山市建設局），島田正夫（日本下水道事業団），川住亮太（国土技術政策総合研究所）

『ハロ酢酸の低減に向けた浄水処理制御方法の設定と実運用』

大方正倫，西川智士，門野薫，三田村良典（滋賀県企業庁）

最後にすべての審議事項について満場異議なく、原案通りに承認され、議長から平成29年総会が終了し

たことが宣言されました。

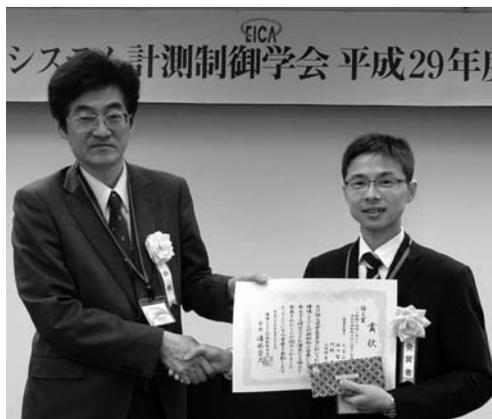
引き続き、会長より、功績賞受賞者の古里氏に賞状と記念品、論文賞受賞代表者に、賞状、副賞、記念品が贈られました。

【功績賞】

古里 明瑠 氏

【論文賞 受賞者表彰】

山田 恭平 氏（京都大学大学院工学研究科）



大方 正倫 氏（滋賀県企業庁）

【講演会報告】



船津 公人 氏
(東京大学大学院工学研究科教授)

最初のご講演は、「ソフトセンサーによるプラントの運転状態推定と製造プロセスの安定化、効率化」と題して、東京大学大学院工学研究科教授の船津公人氏にご講演いただきました。

ご講演は、プロセス産業において適切なプロセス制御を行うために、頻繁かつリアルタイムに測定できるプロセス変数と、技術的・費用的課題のためにそれが困難であるプロセス変数とに分け、測定が困難なプロセス変数はソフトセンサーモデルを構築し、予測することで、オンラインで推定しプロセス制御に反映でき

ることを、事例を基にご説明いただきました。

次のご講演は、「水災害に関する気候変動影響評価と適応に向けて」と題しまして、京都大学防災研究所教授の中北英一氏にご講演いただきました。

ご講演は、近年頻発しているゲリラ豪雨や集中豪雨等の極端な水災害が地球温暖化にともなう気候変動に



中北 英一 氏
(京都大学防災研究所教授)

よる影響ではないか、という考えのもと、将来の安全・安心で豊かな国土・地域・都市、水資源、生物・生態系を気候変動影響評価の視点から考え、その影響評価を文部科学省「気候変動リスク情報創生プログラム」をご紹介いただきながら説明いただき、将来予測の重要性についてお話しいただきました。